

時間がゆっくりと流れる不便なまち

都会と違った非日常空間。すべてを不便に。コンセプトは、
滞在型観光地 + 医療・保養（温泉等）地 + 体験（グリーン
ツーリズム） + 環境 + IT + 顔の見える町

都市部からできるだけ、行き来しやすくし、町の中に入るためには、関所で指定の電気自動車に乗り換える。この電気自動車は、町の中には、定期的に運行されているものの、町の外に出るためには、一日数回しか運行されない不便な地域とする。

町全体を、都会と違う非日常的な雰囲気をかもしだすため、江戸時代や異国、また、物語の世界等を演出し、町全体の雰囲気を統一する。家の作りから、標識に至るまで、コンセプトの統一を図る。

町の中では、独自の通貨が流通させる。

町のなかには、時計はなく、携帯の持ち込みも禁止する。但し、各自、情報端末を、漫画でよくある「魔法のペンダント」のような演出のもと常備させ、緊急用の連絡装置とともに、万歩計・血圧などの観測して健康状態を常に観測する機器とし機能させ、後日、健康データとして、各自に情報提供する。

町のなかには、自転車や電気自動車での移動のみとし、特に中心部は、フリーマーケットなどの市場になっており、自由に参加でき、また、歩行者だけの空間とする。

電気自動車は、GPSで位置を確認し、自動で目的にいくことが出来る。電気自動車は、個人の所有物ではなく、移動の際、無料でレンタルして移動する。

町の医療施設や保養施設は、町の高齢者だけでなく、長期の滞在者に対しても、利用できるようにする。長期の滞在者は、農家などに宿泊したり、空いた農家に宿泊し、体験型の農業体験ができ

るようにする。

中心部では、

- ・ 高齢者の利用しやすい医療機関や、保養施設
- ・ 女性の美容や、中高年のリラクゼーション等を目的とした施設
- ・ 地域で生産された食料品を中心にした日用品を売る小規模な店が集まる市場や、フリーマーケット
- ・ 幼稚園、小学校、中学校、高校、大学等（医学、バイオ等、地域に密着した実学）、老人ホーム、保養施設を一箇所に集め、同じキャンパスで生活できるようにし、互いに顔の見える場所とする。高校や大学では、最新の通信技術を用いて、最先端の授業を受けられるようにする。
- ・ 文化、芸術、伝統工芸など才能のある方々や、その勉強をしている方々が、定住・活躍できるように舞台装置、交流サロンなどを設ける。

周辺部では

- ・ 農地の中に農家が点在する町とし、大規模な商業施設や工業施設が立地しないまちとする。
- ・ 滞在型の保養者や、農業就職希望者のために、空農家や田・畑、農器具を貸し出し、農業体験ができるようにする。
- ・ ここでの農業は、有機栽培とし、地産地消の農業を目指す。
- ・ 地元の子供や、キャンプの来街者に対して、キャンプ場やロッジを提供し、大いに遊び、互いになかよく遊べるようにする。
- ・ ここでは、電力はすべて太陽光発電や風力発電、地熱発電とし、建物の屋根には、太陽光のパネルがあり、大規模な風車はまちの風景として、売り出す。
- ・ 商品の包装など一切せずゴミを最小化すると共に、分別処理し、まちのなかでリサイクルする。